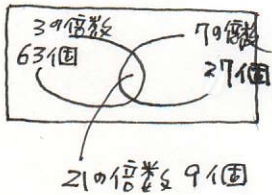


公開模試対策 (入試対策) 解説

(5)  $\frac{1, 2, 3, \dots, 189}{189}$

$$\begin{array}{r} 3 \overline{)189} \\ 3 \overline{)63} \\ 3 \overline{)21} \\ \quad 7 \end{array}$$
 $\rightarrow 189 = 3 \times 3 \times 3 \times 7$  より  
 分子が3の倍数と7の倍数  
 のとき約分ができます。

3の倍数の個数  $\dots 189 \div 3 = 63$  (個)  
 7の倍数の個数  $\dots 189 \div 7 = 27$  (個)  
 21の倍数の個数  $\dots 189 \div 21 = 9$  (個)

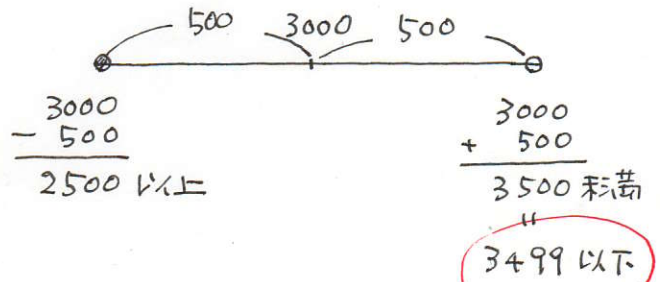


約分できる個数は  
 $63 + 27 - 9 = 81$  (個)  
 $\downarrow$   
 約分できない個数は  
 $189 - 81 = 108$  (個)

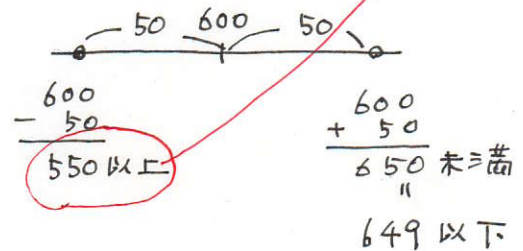
108個

(6)

百の位を四捨五入して3000になる数は



十の位を四捨五入して600になる数は



差が一番大きくなるのは 最大 - 最小  
 ですから

$3499 - 550 = 2949$

2949

(7) 分子に 加える 数を □ とすると

$\frac{13 + \square}{128} = \frac{1}{8}$  分母が何倍になって  
 いるかヒヒハします。

$128 \div 8 = 16$  より 分子も 16倍

$13 + \square = 1 \times 16$

$13 + \square = 16$

$\square = 16 - 13$

$= 3$

3

(8)

筆算の形にすると次のようになります。

$$\begin{array}{r} \dots 7 \\ \square \overline{)175} \\ \uparrow \\ 7 \text{ 少々ければ} \end{array} \quad \begin{array}{r} \dots 3 \\ \square \overline{)163} \\ \uparrow \\ 3 \text{ 少々ければ} \end{array}$$

$175 - 7 = 168$      $163 - 3 = 160$

168と160であれば □ でわり切れます。  
 すなわち □ は 168と160の最大公約数 です。  
おまりの7より大きい数 です。

$$\begin{array}{r} 2 \overline{)168, 160} \\ 2 \overline{)84, 80} \\ 2 \overline{)42, 40} \\ \quad 21 \quad 20 \end{array}$$
 最大公約数は  $2 \times 2 \times 2 = 8$   
 この約数は 1, 2, 4, 8 です。  
 この中で 7より大きい数 は 8 です。

8